



HATTORI

〒701-0151岡山市北区平野620
TEL (086) 293-2111 FAX (086) 293-2112
<http://www.hattori-k.co.jp> E-mail:info@hattori-k.co.jp



環境にやさしい
植物油インキを使用



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

CSR REPORT ✦ 2020

服部興業グループ CSRレポート
2020.4.1-2021.3.31

CSR REPORT ✖ 2020

CONTENT

02	トップメッセージ
03	経営理念
04	組織図
05	SDGsへの取り組み
07	トピックス 「おかやまSDGsアワード2020を受賞しました」
09	経営理念を実現するために(組織統治)
11	健全な企業風土づくり(人権)
14	従業員一人ひとりが活躍できる環境づくり(労働慣行)
19	持続可能な環境への取り組み(環境)
21	法令を遵守した事業活動(公正な事業慣行)
22	お客様の安心と満足のために(消費者課題)
23	地域の皆様とともに(コミュニティへの参画)
25	第三者意見

CSRレポート編集方針

私たちは経営理念のもと、日々の事業活動を行っております。

その報告書としてCSRレポートを作成するにあたり、世界のすべての団体に適用可能な

社会的な責任の国際規格である『ISO26000』を手引きとして活用しています。

同規格のガイドラインに従い、以下の7つの原則に則っています。

7つの原則

①説明責任 ②透明性 ③倫理的な行動 ④ステークホルダー ⑤法の支配の尊重 ⑥国際行動規範の尊重 ⑦人権の尊重

私たちの活動を以下7つの中核課題に分類し編集しています。

7つの中核主題

- 6.2 組織統治
- 6.3 人権
- 6.4 労働慣行
- 6.5 環境
- 6.6 公正な事業慣行
- 6.7 消費者課題
- 6.8 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

服部興業グループの7つのカテゴリー

- 経営理念を実現するために(組織統治)
- 健全な企業風土づくり(人権)
- 従業員一人ひとりが活躍できる環境づくり(労働慣行)
- 持続可能な環境への取り組み(環境)
- 法令を遵守した事業活動(公正な事業慣行)
- お客様の安心と満足のために(消費者課題)
- 地域の皆様とともに(コミュニティへの参画及びコミュニティの発展)

おかやまSDGsアワード2020を受賞して

服部興業グループは、昨年12月に第1回おかやまSDGsアワードを受賞しました。

SDGs宣言をしてから3年、私たちの取り組みが評価されたことを大変嬉しく思います。

国内の山林は木材等林産だけでなく、多くの公益的機能を持つことが見直されはじめています。土砂災害等を防止する国土保全、良質な水を育む水源涵養、そして生物多様性など私たちが安全で豊かな生活を送るために欠かせない多くの環境保全機能を果たしています。特にCO₂を吸収・固定・貯蔵する地球温暖化防止機能には更に大きな役割が期待されます。

建設関係では改修の仕事が増えました。県庁の大規模耐震改修工事の他にも学校や病院、商業施設などもリニューアルによる安全や省エネを向上させる動きが活発です。土木分野でも、老朽化した道路、トンネル、橋梁等のインフラの多くが修繕の時期を迎えることが予測されています。またガードレール等の身近な安全設備や河川堤防の補強等の防災減災関連の工事人も人々を守る重要な仕事です。これらには特殊技能や高い専門性が要求されますので、私たちもスキルアップや新たなネットワークづくりが必要です。

カーボンニュートラルやEV車への対応も急がれます。ガソリンスタンドを中心に石油製品を販売する私たちも新たな地域のモビリティ社会や低炭素時代の実現へ向けて挑戦しなければなりません。

アフターコロナの世界において前述した様な変化を一気に迎えることになるかもしれない。「私たちはウイルスに試されている、次から次に重大な課題を突きつけられている」、そんな気がしてなりません。しかし、どのような社会になろうとも、“社員の幸福と持続可能な社会を実現する”という私たちの企業理念は変わりません。その重要な羅針盤の一つがSDGsです。どんなに厳しい状況であろうとも、私たちは一人一人がSDGsを自分事として“利他の心”を持って取り組んで参ります。

2021年8月吉日



代表取締役社長
服部 俊也

実践



牛窓本宅広間に“実践”の書が掲げられている

ミッション

正しいことを実践し、
社員の幸福と社会の進歩発展に貢献します

ビジョン

人づくりを原点に仕事の品質、安全、環境を追求し、
人々の豊かな暮らしを実現する地域ナンバーワン企業を目指します

バリュー

経営信条「3つの満足」
顧客の満足・社員の満足・会社の満足

CSR方針「社業発展、社会貢献」
SDGsへの取組

行動規範

家法・考働基本・行動指針・5S活動・服部フィロソフィ

※服部フィロソフィ ▶09ページ

家法



三代目 服部平九郎



経営信条

三つの満足

お客様に満足して頂くことが、社員の喜びであり、
会社に発展をもたらすものと確信しています。

1 顧客の満足

期待された以上のサービスの提供

2 社員の満足

生きがいのある仕事、自己の成長、生活の向上

3 会社の満足

適正な利潤の獲得、利益の分配

行動指針

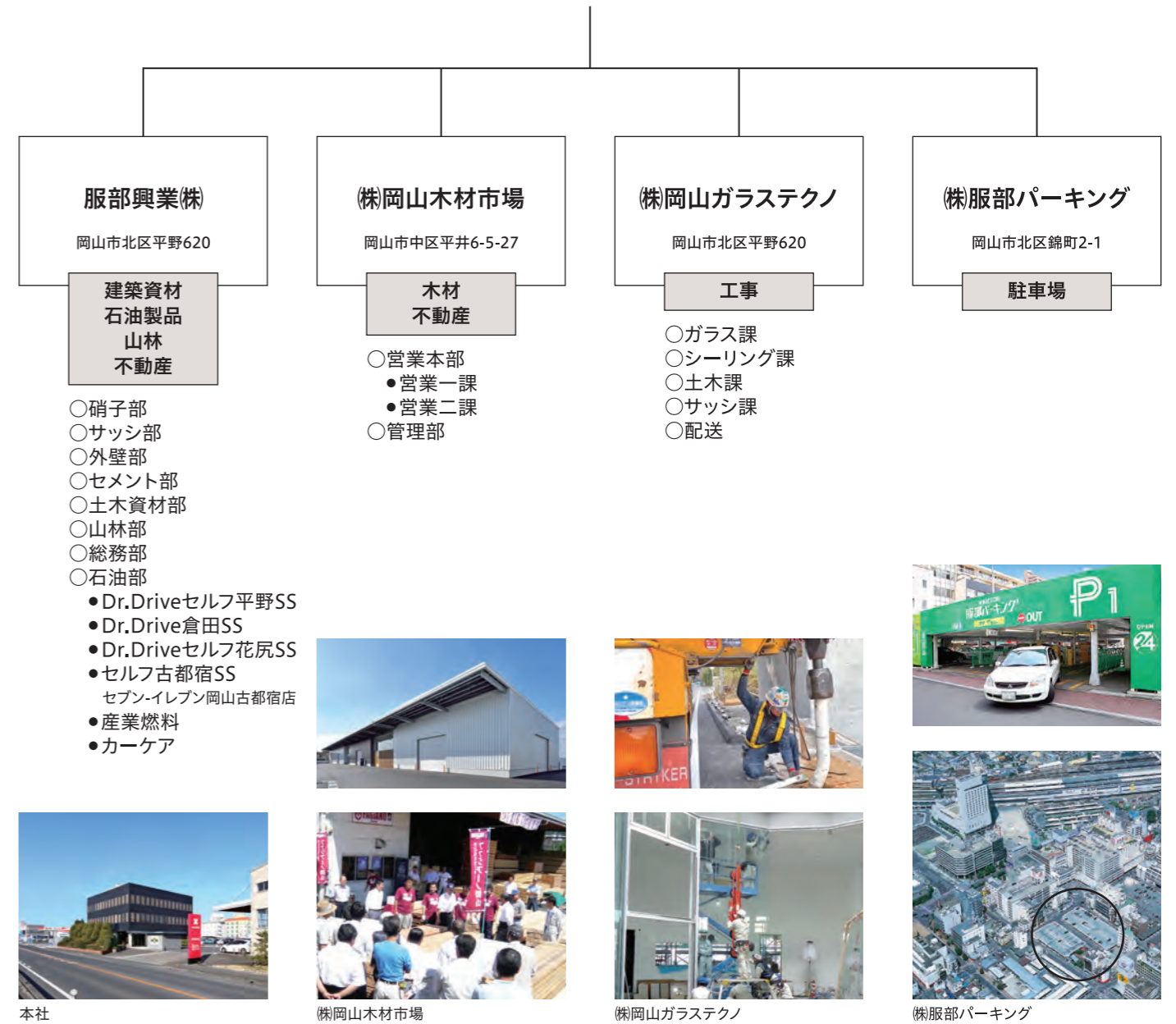
即反応・即実行 仕事に気魄と気働き

考働基本

	好感	安心感
即反応・即実行	<ul style="list-style-type: none"> 感謝の気持ちを表わそう 自ら進んで行動しよう 理解する人になろう 	<ul style="list-style-type: none"> 約束は守ろう 報告はすぐしよう 勇気を持って継続しよう
気魄・気働き	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみを整えよう いつも笑顔で接しよう バイタリティーでやり遂げよう 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場で考えよう 自信を持って行動しよう 成功への執念を持とう

服部興業グループ

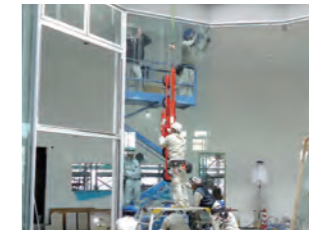
グループ売上高：82億円(2020年度)
グループ人員：144名



本社



(株)岡山木材市場



(株)岡山ガラステクノ



(株)服部パーキング

SDGsへの取り組み



SDGsとは、Sustainable Development Goalsの略称です。2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国で2030年までに達成する目標です。エネルギー問題や気候変動、教育や健康、さらには働きがいや経済成長も踏まえたもので、私たちの企業活動と目的が一致するものも多くあります。服部興業グループでは2018年4月7日にSDGs宣言を行い、成長目標を定めました。今後も我々が取り組むべきゴールに向けて事業を行っています。

新型コロナウイルスへの対応

従業員・家族の健康と安全および安定した事業継続のため、グループ各社共通して以下の点に取り組めます。

3 すべての人に健康と福祉を

従業員の健康推進

関連記事 12ページ

2020年度5月上旬にマスクと消毒液の配布を行いました。2021年は産業医を通じての速やかなワクチン接種を実施していきます。毎朝の掃除と5Sで、清掃・清潔・職場環境の整備にも努めています。

4 質の高い教育をみんなに

リモートワークの推進

関連記事 12ページ

オンライン会議システムを活用し、会議・社内勉強会を実施しています。今後は在宅や社外でも業務ができるよう、環境整備にも取り組み、ワークライフバランスや業務の効率化にも繋げていきます。

8 働きがいも経済成長も

働きやすい環境づくり

関連記事 18ページ

臨時休校等に対応した、特別有給休暇制度を創設しました。これを機に、育児や介護等の支援制度を見直し、従業員のサポート体制を整えていきます。

17 パートナースHIPで目標を達成しよう

利他の心を大切にします

服部フィロソフィの一つである、「利他の心」を大切に、困っている人の役に立てる仕事を模索します。

服部グループが取り組むSDGs

本業を通じて持続可能な開発目標の実現に努力します。



SDGs取組結果と2021目標

部門	2020目標	対象	2020結果	達成率	2021目標	対象
グループ全体	マスク、うがい、手洗いの励行 インフルエンザ予防接種の励行と支援 労働災害の防止 資格・免許取得推進による人材育成の強化 健康経営優良法人認定の継続 定期健康診断実施と再検査フォロー	3 8	従業員・事業所にマスク6,678枚、希望者40名に消毒液を配布 インフルエンザ予防接種率93% 労働災害16件(前年比: +8件) 資格取得者8名(前年比: +2名) 3社(服部興業・岡山ガラステクノ・服部パーキング)継続 再受診率80%	75% 80%	昨年度目標引き続き new ・CSR活動の更なる社内浸透 new ・社内サークル活動の支援	3 4 8
硝子部	複層ガラス6,100㎡	11	11,490㎡	188%	①複層ガラス6,500㎡ ②ガラス破損前年度比30%減(2020:19枚) ③残業削減(一人当たり15時間/月以下にする)	8 11 12 13
サッシ部	①内窓、ペアガラス交換工事30件 ②勉強会、研修会へ積極的に参加	4 11	26件 メーカー勉強会への参加	87%	①エネルギー消費削減のための玄関ドア、引戸、サッシ取替60件 ②ペアガラス入替・内窓30件	11 13
外壁部	①耐震パネル率80%・30,000㎡ ②ALCリサイクル現場3件/年	11 12	耐震パネル率92.5%・32,080㎡ 0件/年	113% 0%	①耐震パネル率100% ②メーカー勉強会への参加(年4回・部門秘書の参加) ③機械導入による労働時間削減及び生産性向上(現場5件)	4 8 11
セメント・土木資材部	①防災関連商品6件 ②産業廃棄物低減への貢献(セメントを使用した改良土の提案、生石灰による搬出土の産廃扱い低減)	11 12	災害復旧(河川)矢板・鋼管杭8件 0件	133% 0%	①災害復旧6件(矢板・鋼管杭(地盤改良)) ②高架・橋梁 長寿命化工事10件 ③用水路転落防止対策工事10件 ④子どもの安全を守る学校関係外構工事10件 ⑤再生PETフェンス10件(2020:その他のネットフェンス9件)	11 12
石油部	①タイヤ販売におけるエコタイヤ比率55%以上 ②マイカーリース契約におけるエコカー比率90%以上 ③セブン-イレブンでのフードロス削減前年△20%	7	エコタイヤ比率54% マイカーリース契約のエコカー比率73% セブン-イレブンのフードロス削減前年△24%	98% 81%	①タイヤ販売におけるエコタイヤ比率55%以上 ②セブン-イレブンのフードロス削減前年△20% ③配送パートナーを増やし配達における総走行距離削減しCO ₂ 削減(パートナー5社増) ④燃費向上のためのタイヤ空気圧点検 10,000件	2 7 11 12
山林部	①土壌条件改善により洪水防止への寄与(間伐40ha) ②貴重な動植物の生育環境確保(山の便り発信30回) ③教育の充実(労働災害0、環境教育5回)	4 15 17	間伐30.2ha(社有林6.1ha、委託現場22.7ha) 山の便り発信40回 労働災害2件、環境教育4回 (山林研修、美作大・後楽館高校指導、アスエコ環境教育参加)	75% 133% 80%	①森林整備によるCO ₂ 固定化と土砂流出防止 間伐40ha ②森林生態系能力の強化(広葉樹整備1か所) ③絶滅危惧種の把握と保護(山の便り発信45回) ④パートナーシップの推進(真庭市や取引先との協働3件)	13 15 17
総務部	①健康診断再受診率100% ②ストレスチェック実施率100% ③WEBを活用(会議・研修・打合せ・テレワークの検討、実行)	3 4 8	再受診率80% 実施率100% WEB会議等(Zoom活用)定期実施 テレワーク環境整備中 社内報にて社員のSDGsの取り組みを紹介(2021年3月号より1名掲載)	80% 100%	①健康診断再受診率100% ②ペーパーレス推進(印刷削減率10%) ③BCP策定・実行(安否確認訓練2回) ④テレワーク実行 ⑤交通事故防止(テレマティクス導入)	3 4 8
株式会社 木材市場	①合法木材の取扱量 9,700㎡(前年比116%) ②ペレット販売量33t(20kg×1,650袋 前年比127%) ③木工教室開催3回(前年比100%)	4 7 12 17	8,200㎡ 34.24t(20kg×1,712袋) 0回(新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止)	85% 104% 0%	①合法木材の取扱量 9,000㎡(前年比110%) ②県産材の取扱量 3,000㎡(前年比110%) ③ペレット販売量 40t(20kg×2,000袋 前年比117%) ④木工教室開催2回	4 7 12 15 17
株式会社 服部パーキング	①健康(歩行歩数の記録、飲酒者割合の減少、喫煙者の減少) ②入出庫車の安全確保(場内外での事故回避) ③AEDの受講 ④エコキャップの回収 500個/月 ⑤ゴミの分別処理(業者回収→燃えるゴミ、燃えないゴミ(缶、瓶))	3 4 8 12	健康(歩行歩数の記録、飲酒者割合の減少、喫煙者の減少) 入出庫車の安全確保(場内外での事故回避) AEDの受講(コロナの影響で受講できず) エコキャップの回収 500個/月 ゴミの分別処理(業者回収→燃えるゴミ、燃えないゴミ(缶、瓶))	90% 100% 0% 100% 100%	①快適な駐車場づくり・地域治安向上のため、場内・周辺美化活動(毎日) ②出入口の安全・渋滞緩和のため、事前精算比率向上(60%→70%) ③従業員の健康のため、歩行歩数計測(10,000歩/日)	3 11
株式会社 岡山ガラステクノ	①残業時間の削減と週1回のノー残業デーの実施 ②退勤～出勤まで10時間のインターバル実施 ③室内完全禁煙化・ストレスチェックなど福利厚生充実 ④月1回の安全周知会の実施	3 8	残業時間削減前年△36.5h(19年:1305、20年:1268.5) 週1回のノー残業デーの実施 室内完全禁煙化・ストレスチェックなど福利厚生の充実 月1回の安全周知会の実施	92% 100% 83%	①週1回のノー残業デー(100%) ②退勤～出勤まで10時間のインターバル実施(100%) ③資格・免許取得推進による人材育成の強化(4名:1級ガラス…1名、1級防水…3名) ④月1回の安全周知会の実施(100%)	4 8

おかやまSDGsアワード2020を受賞しました

おかやまSDGsアワードとは、「岡山という地域に根ざし、SDGsを合言葉とした、人々に活気を生み、持続的に生きるための課題解決につながる事が期待される取組の推進を後押しするため、本アワードを通じて、岡山を持続的発展のための挑戦をしていく人材が集まる活力あふれる地域とすることを旨とする。」(おかやま地域発展協議体HPより)

服部興業グループは、SDGsによる利他の心を持つ人材の育成と持続可能な社会の実現を目指し、部門ごとにSDGs目標を指標化、経営本体に活かしている点が評価されました。



表彰式

ディスカッション

SDGsの取り組みで繋がる新たな縁

おかやまSDGsアワード2020受賞で、講演のご依頼をいただくことが増えました。

当社の取り組みを知っていただけるのはもちろん、他社、他団体のSDGs理解を深める一助になれたことを大変うれしく感じます。また、講演の中で当社自身の課題も明らかにすることが出来ました。今後も「地域に必要とされる企業」を目指して、様々な形で地域貢献していく決意を抱きました。

▶ 真庭SDGs円卓会議

真庭市では市民・企業などのSDGsパートナーと連携し、市全体で「真庭SDGs円卓会議」を行っています。「草の根的なSDGsの動きをつくる」をテーマに開催された令和2年度会議では、真庭市より事例紹介を依頼され、服部社長が当社の取り組みを発表しました。



2021.2.9

▶ SUENAGA Group SDGs講演

取引先であるSUENAGA Group様より講演依頼を受け、服部社長が取り組みを紹介しました。講演後は、各社役員の方々から、ご質問・ご感想を頂きました。このような場は、取り組みを振り返り、課題を発見する良い機会になっています。当社の取り組みはまだ道半ばではありますが、改良改善を重ね、よりよいものにしていきます。



2021.3.31

メディアにも取り上げられました

新聞	12/5 日刊木材新聞「CSRレポート作成 SDGsアワード受賞」
	12/12 山陽新聞「おかやまSDGsアワード受賞団体紹介記事」
	2/28 山陽新聞「真庭SDGs円卓会議」
	3/1 山陽新聞「SDGs先進県へ」
冊子・ポスター	岡山経済同友会「おかやまSDGsマップ」
	岡山県農林水産部林政課「おかやま木づかいのすすめ～林業サイクルの循環と花粉発生源対策～」 真庭市役所「真庭SDGsパートナー」
情報サイト	3/17 おかやまESDナビ「服部興業株式会社の活動紹介」
講演	2/9 真庭SDGs円卓会議
	2/16 慶應義塾中等部 リモートSDGs授業
	3/12 竹和会合同部会
	3/31 SUENAGA Group SDGs講演

山陽新聞2021/3/1



▶ おかやまSDGsアワード2020受賞団体とのパートナーシップ

おかやまSDGsアワード2020受賞団体である、株式会社ありがとうファーム様、倉敷市立精思高等学校様へ訪問し、取り組み内容について情報交換をしました。今後、新たな取り組みを模索していきます。



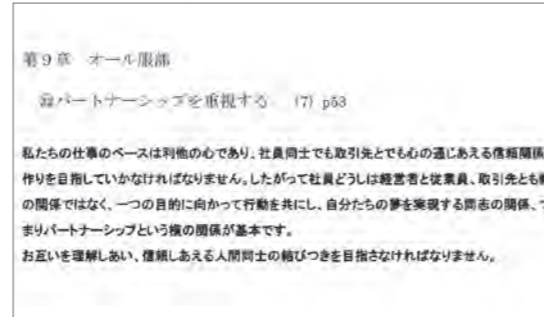
2021.1.14

“出典：倉敷市立精思高等学校HPより”

経営理念を実現するために(組織統治)

服部フィロソフィの理解・実践を図っています

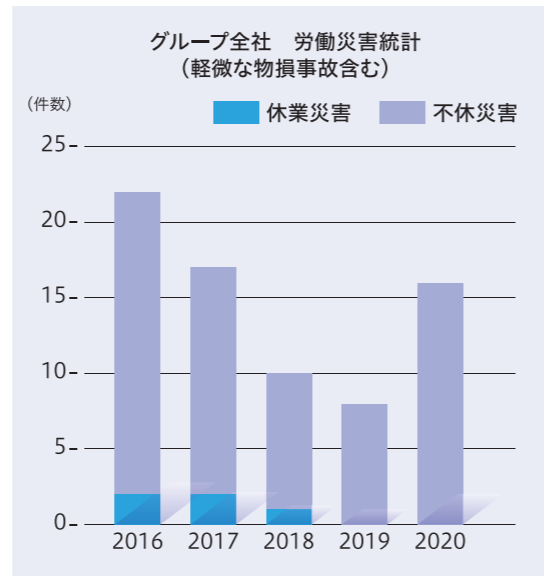
人として正しいことを実践し、正しい判断ができる人材育成のための羅針盤が「服部フィロソフィ」です。毎朝2名ずつ行っている朝礼スピーチや毎月の勉強会「決戦の日」では、取り組んだ仕事や行動がこの中の項目にどのように関連しているか発表をしており、学びの機会となっています。



安全への取り組み

私たちの職場環境は建築現場や山林作業などの危険業務や、危険物を取り扱う仕事もあります。従業員や協力会社の方が安心して働くため、営業推進と安全は車の両輪であるという価値観を共有しています。新入社員への安全教育も実施することで、安全意識の醸成に努めています。

2020年度の休業災害はゼロの一方で、労働災害は16件と発生頻度が上がっています。事故事例の共有や安全周知会などを通じ、事故減少に取り組んでいます。



安全パトロール

毎月1回、安全パトロールを実施しています。安全衛生のコンサルタントにも同行いただき、作業現場や事業所に潜む危険性・有害性がないか確認し、改善指導・アドバイスを行っています。2020年度は、林業作業の現場を2回実施しました。林業は建設業以上に労災保険率が高い(=リスクが高い)業種です。その中で危険度の高い作業から対策を実施していくことが求められます。

写真は、3月の真庭市内での架線集材作業の光景です。



協力会社向け安全教育

グループ従業員だけでなく、協力会社向けにも安全教育を行っています。2020年度は、外壁部の関連会社2社を対象に実施しました。

ともに働くパートナーである協力会社の方々へ安全に業務にあたっていただくことは、当社にとっても非常に重要です。ともに安全意識を高め、安全で質の高い仕事を行っています。



BCP(事業継続計画)の取り組み

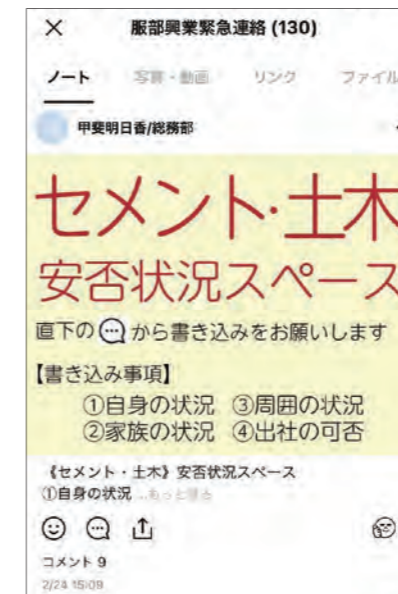
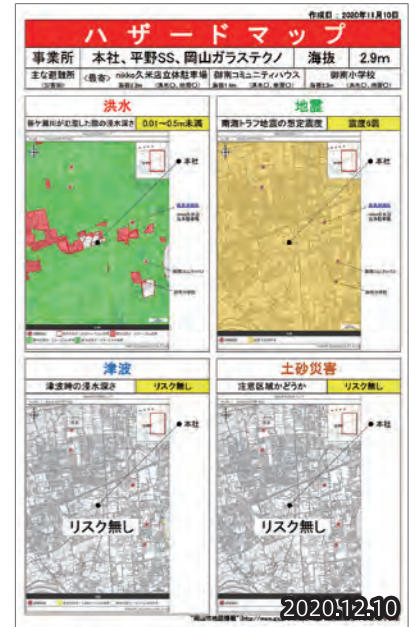
BCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)とは、自然災害や感染症リスクに対して事業活動が再開される状態に回復させるための計画です。

起こりうる危険を把握し、初動対応を定めることで、有事の際にも速やかに業務復旧ができるように努めます。

ハザードマップの掲示

まずはリスクを知ることが必要です。自治体等から配布される資料は見づらいため、各拠点ごとに災害別(洪水・地震・津波・土砂災害)のハザードマップを作成し掲示しました。近隣エリアを含めた被害想定、最寄の避難所を明記しています。「南海トラフ地震」や「〇〇川が氾濫した際」など、イメージがしやすいよう工夫しました。

ハザードマップの確認を通じて、災害発生時に自分達がいる場所がどうなっているのか、どこに行けばいいのか把握していきます。



安否確認訓練

全従業員が参加でき、必要な人がいつでも情報を確認できるアクセシビリティを考慮し、LINEオープンチャットによる安否確認を導入しました。

3月に運用訓練を実施し、全員に実際に利用してもらった他、書き込んでもらう情報の優先順位を考えると役員への報告方法など今後の課題を確認しました。今後毎年2回訓練を行い、災害発生時に誰もが支障なく情報共有ができるよう取り組んでいきます。

住民拠点SS、自家発電機設備

セルフ平野・セルフ古都宿・倉田SSの3SSが住民拠点SSとなりました。住民拠点SSとは、自家発電設備を備え、災害などが原因の停電時にも継続し地域の住民の方々に給油が出来るガソリンスタンドのことで、これによって予期せぬ事態でも被災者の救援や地域の早期復興のための車両、また地域の方へもガソリン・軽油を供給できるようになりました。

いざという時に備えることでSDGs目標の1つ「⑦エネルギーをみんなに」また「⑩住み続けられるまちづくり」を実践し、どんな時でも地域に貢献できるSSを目指してまいります。



健全な企業風土づくり(人権)

健康経営優良法人2021

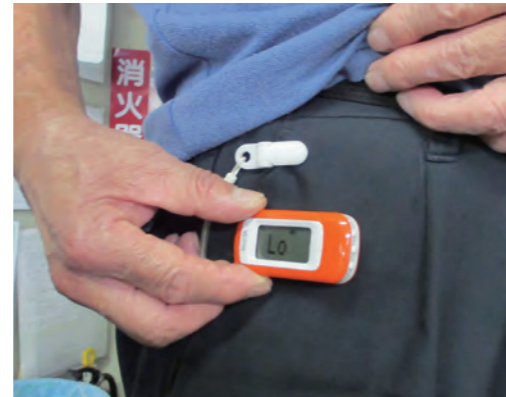
昨年に引き続き、服部興業、岡山ガラステクノ、服部パークの3社が健康経営優良法人の認定を受けました。従業員が心身ともに健康に働き、それぞれの能力や個性を最大限発揮しながら毎日生き活きと働くことができる”健康人材”が集まる会社を目指しています。



歩行歩数の記録、喫煙者の減少

服部パークでは、健康増進の観点から、歩数計を使用しています。1日10,000歩を目標に、自分達がどれくらい動いたか、見える化に繋がります。コロナ禍で運動機会が減っている時だからこそ、こういった地道な取り組みが必要だと感じています。

喫煙者は減少し、現在はアルバイト1名のみ。今後は全社的にも禁煙外来の勧めなど、喫煙者ゼロを目指します。



時短勤務制度

育児や介護の必要がある従業員に対し時短勤務制度が認められています。2020年度は服部興業従業員1名が制度を活用し、1時間の時短勤務を1か月行いました。



妻の第三子出産のため、時短勤務を活用しました。業務の代行やスケジュール調整等、多くのサポートを頂きありがとうございました。今後も、メンバーの業務への理解を深め、互いにフォローしあえる環境をつくってまいります。

石油部 河本和幸

健康教室を開催しました

岡山ヤクルト販売様を講師にお迎えし、健康教室～健腸教室～を開催しました。9名の従業員が参加しました。腸や免疫の働きなど腸内環境の大切さについての理解を深め、健康に対する意識向上になりました。



消毒液設置とマスクの配布を行いました

新型コロナウイルスの流行に伴い、マスク着用の徹底と各事業所へ消毒液の設置を行いました。

5月上旬には従業員・事業所にマスク6,678枚、希望者40名に消毒液の配布を行いました。

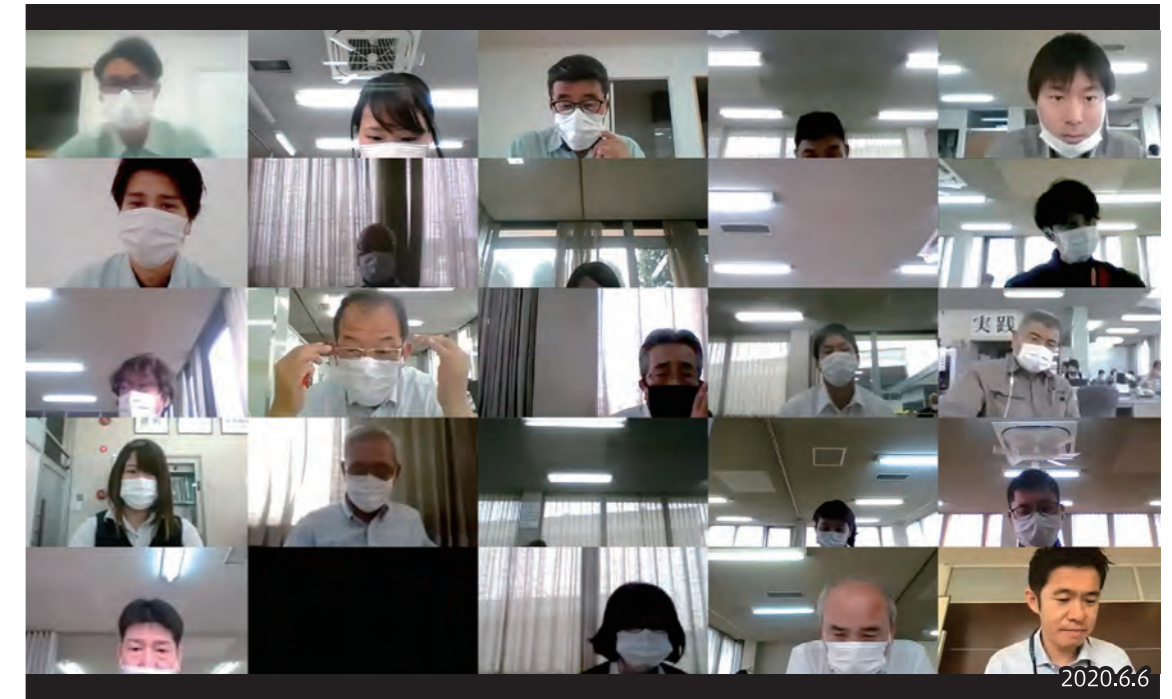
早期対応を心掛け、安心して働ける職場環境整備に努めました。



テレワーク、リモートワーク

WEB会議サービスZoomを導入し、会議や打合せ、全社勉強会「決戦の日」等で活用しています。

コロナ対策としての目的はもちろんのこと、各事業所から参加できるため、移動時間減少、ガソリン使用量とそれに伴うCO2排出量の削減、事故の可能性低減といった効果があります。対面との使い分けが重要になります。このような便利な機能を最大限活用することが生産性向上の一助になると感じました。



本社網戸設置

新型コロナウイルスの感染防止対策として換気への関心が高まり、網戸の需要が急増しました。オフィスなどには網戸がっていないことが多く企業からの網戸の新設依頼が増えた他、一般住宅でも多くの網戸の新設・張替えの依頼がありました。

服部興業本社1階の窓にも網戸を取り付け、常時換気を行いました。



女性目線での改善提案を行っています

服部興業グループの女性従業員10数名で月に1回集まり、働きやすい環境づくりを目的としてオリブ会を組織しています。女性の声が会社を良くしていく仕組みとなっております。2020年度では、女性の制服のズボン着用に向けて話し合い、改善を行いました。



暑い時期はスカート、寒い時期はズボンを選択出来るので快適です。また、自転車で通勤したい時に履く等気分によっても変わっています。動きやすいので仕事の効率やモチベーションが上がります。

外壁部 宮本栄子

パワー・ハラスメント研修会を開催しました

11月9日、各部課長と関連会社責任者を対象に、顧問弁護士によるパワーハラスメント研修会を実施しました。定義について確認し、業務中のみならず懇親会などの場も対象となることを学びました。また、相談者と行為者の双方の事実確認が必要であり、会社としては就業規則での明確化や相談窓口の設置、実際に事が起きた際には厳正な対処を行うことが必要だと学びました。

ライフプランセミナーを開催しました

中国銀行本店営業部様による、ライフプランセミナーを開催しました。従業員16名が参加し、今後起こりうるライフイベントに向けての計画的な資金形成について情報提供を頂きました。

業務以外についても様々な情報提供を通じて、従業員の豊かな生活を支援していきます。



2021.1.16

従業員一人ひとりが活躍できる環境づくり(労働慣行)

キックオフ

4月と10月に半期ごとの部門・会社目標を発表し、目標を確認し全員経営で仕事に挑んでいます。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、時間短縮・間隔を空けて席の配置するなど対策を行いました。



2020.4.4

決戦の日

毎月1回、各部門・関連会社の成功事例を発表します。自部門へ水平展開したり、新たな気づきを得ることを目的としています。年始に行われる新年互礼会では1年の発表の中から優秀発表者を表彰しており、2020年は新しい商材に積極的に取り組んだ土木資材部や現場主義・事前準備を徹底して信頼関係を構築したサッシ部などから8名が選ばれました。

表彰制度

毎年、新年互礼会にて下記の対象者を表彰しています。

- 資格取得者 8名
(前年比: +2名)
- 無事故無違反(10年) 2名
- 勤続30年 2名

服部アワード

- MVP 1名
- 優秀賞 3名

1年の功労者を従業員の投票で決定し表彰しています。服部フィロソフィ(p9)や多くの人を巻き込み協働する「オール服部」の実践、新しい事への挑戦など様々な点が評価のポイントとなっています。



2021.1.5



2020.12.26

MVP受賞者: 山林部 川原洋平 **受賞理由:** SDGsアワード獲得に貢献
コメント: 山林部・CSRメンバーのおかげで受賞することができました。光栄に思います。ありがとうございました!

専務新人研修

4月から2か月に1回、新入社員5名を対象に専務による新人研修を行いました。社会人としての心得を学び、今後の将来像についての意見交換をすることで、自律した人材育成に繋がっています。



2021.2.6

参加者の感想



研修を行う中で一番印象に残ったことは、失敗した経験を大切にしようという専務のお話です。これまで得た知識や、自らの立てた目標・取り組みを今後活かしていけるよう、また失敗を糧に変えられるよう精進したいと思います。

石油部 磯崎尚弥

実践知研究会

2020年度も毎月1回、服部グループの部課長・部門秘書24名を対象に経営コンサルタントの矢田昌宏先生による勉強会・実践知研究会を行っています。4~5人を1グループとして、仕事での悩みや新しいチャレンジなどについて先生やグループメンバーから意見をもらい自身の業務に活かしています。現地・現物・現実といった事実を確認する「三現主義」、1人の能力だけでなくメンバーの力を集結してよりよい結果をだす「集合天才」、「内発的動機」をキーワードにしています。

石油部複合店研修

石油部では、下期からセブンイレブン岡山古都宿にて複合店の研修を開催しています。

目的は、セブンイレブン・ガソリンスタンドと複合店の業務を石油部メンバーが体験を通じて理解しメンバーの多様性を広げていくことです。SSメンバーのみでなく、石油部本社メンバーも含め12名が2日ずつ参加しました。今後も、常に現状に満足せず、向上心を持ち取り組んでいきます。



2020.10.26

森の会議

7月より山林部と岡山木材市場の社員で情報共有をする「森の会議」が始まりました。林業現場と製品市場は製材所などの加工業を挟んで木材が流通しており、業務上での直接のやりとりはありませんが、双方の顧客やニーズ、動向を共有し学ぶことで新たな事業展開へつなげることが狙いです。2020年度は14回実施し、山で生産したヒノキ間伐材を真庭市内の鳥越工業株式会社様に製材していただき岡山木材市場で販売する取り組みに繋がりました。今後も木の付加価値を高める活動につなげていきます。



山林研修

2020年度は若手社員9名で3日間の山林研修を実施しました。主な内容は山林踏査、松茸山掃除、伐倒作業、ロープワークです。山林研修を通じて得た、安全第一で業務を行うこと、困難な仕事でもチームで試行錯誤しながら挑戦していくことなどの様々な気づきを自分の部門の業務にも活かしています。



2020.10.29



2020.10.28

参加者の感想



初日に、人生で初めて地下足袋を履き、社有林踏査を行いました。踏査中、山林部社員の方から、スギやアカマツなどの木々の説明、初めて見る生き物達の生態系の説明等々を受け、様々な貴重な体験ができました。

手入れの行き届いた社有林の木漏れ日を見た時は、幻想的で感動し疲れを忘れる程に美しかったです。

石油部 中山二実徳

参加者の感想



閉講式での皆の良かった所の発表会は、少々気恥ずかしさを感じつつも、他人の目に自分がどう映っていたかを知り、また、ストレートに褒められたことでモチベーションアップにもなったと思います。今後お互い切磋琢磨し、より成長していきたいと思っています。

岡山木材市場 神谷佳樹

従業員満足度調査

働きやすい職場環境づくりや社員のモチベーション向上を目的として、従業員満足度調査を行いました。事業の社会貢献度や個人の能力向上への支援、従業員の健康への配慮などの項目の評価は高かった一方、有給休暇の取得しやすさや社内の取り組みへの参加意識など改善すべき点も多々ありました。結果を基に、関連するすべての人にとって服部興業グループが、「なくてはならない会社」になるべく努めてまいります。

満足度トップ10

順位	分野	番号	質問内容	満足度	不満度
1	経営の方向性について	5	わたしの会社の事業は、社会の役に立っている	84.4	3.1
2	能力向上について	37	わたしの会社は、業務改善や自己啓発に対して応援してくれている	77.1	7.3
3	経営の方向性について	3	わたしは、会社の経営方針を理解している	70.8	11.5
4	能力向上について	38	わたしは、今の仕事を通じて、さらに新しい知識や能力を身につけることができる	69.8	10.4
5	職場環境や福利厚生について	41	わたしの会社は、社員の安全や健康に配慮している	69.8	14.6
6	能力向上について	42	わたしは、自分自身の能力向上に努めている	68.8	2.1
7	経営の方向性について	3	わたしの会社には、安定感(安心感)がある	68.8	4.2
8	コミュニケーションについて	34	わたしの職場は、社員間での後援が充実している	68.8	14.6
9	仕事(担当業務)について	19	わたしの業務上の目標は、明確になっている	67.7	6.3
10	意思の上昇について	14	わたしの上司は、信頼できる	67.7	8.3

不満度トップ10

順位	分野	番号	質問内容	満足度	不満度
1	職場環境や福利厚生について	48	わたしの職場は、有給休暇を取得しやすい	35.4	45.8
2	社内の取組みや行事について	71	「決算」は業績向上や人材育成、推進の一環につながっている	24	41.7
3	SDGs・CSRについて	37	わたしは、「CSRレポート」を読みたい	22.9	35.4
4	社内の取組みや行事について	72	わたしは、「ランクスカード」をもっと読みたい	33.3	32.3
5	職場環境や福利厚生について	51	わたしの職場において、セクハラ・パワハラ行為は発生しない	33.3	30.2
6	SDGs・CSRについて	39	わたしは、ボランティア等の社会貢献活動が会社であれば参加したい	35.4	29.2
7	コミュニケーションについて	26	わたしの会社は、困った事や悩み事を相談しやすい	37.5	27.1
8	職場環境や福利厚生について	49	わたしは、会社の福利厚生を評価している	37.5	27.1
9	賞罰の上昇について	13	わたしの上司は、わたしを指導育成してくれる	44.8	27.1
10	人事制度について	18	わたしの会社では、能力や業績が、正當に評価される制度があり、適用がなされている	34.4	26.0

誕生日会

毎年誕生日にお祝いとして社長直筆のメッセージカードとお菓子のプレゼントが届きます。また、誕生月のメンバーと社長でランチを囲む昼食会も行っています。

結婚・出産・新築お祝い

結婚・出産・新築のあった従業員にお祝い金が渡されました。2020年度は結婚2名、出産5名、新築2名でした。

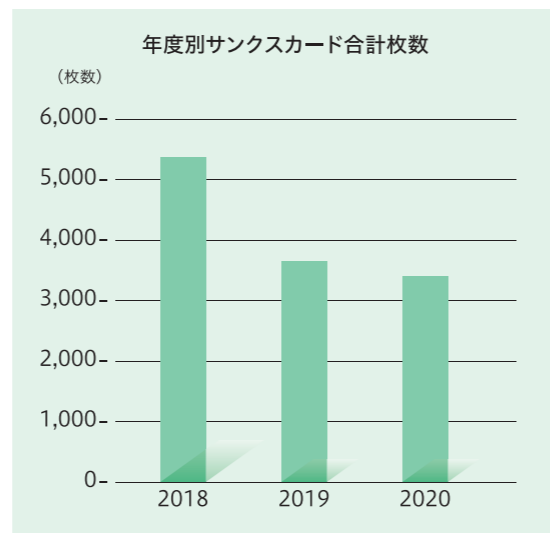
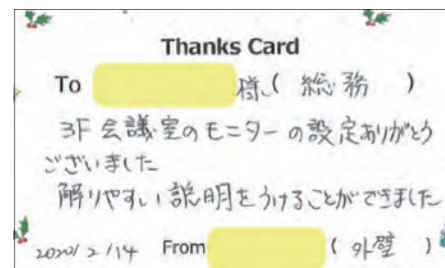
新入学お祝いの会

毎年3月、次年度に小学校に入学するお子様を持つご家族を会社に招き、新入学お祝いの会を開催しています。社長からの話やお子様へ絵本、文具等をプレゼントします。お子様には「小学校に入学したら頑張りたいこと」を絵にして当日発表してもらいます。ご家族の方々にも、お父さん・お母さんがどのような職場でどのような仕事をしているのか知ってもらい良い機会になっています。2020年度は3家族、新一年生3名が対象でした。



従業員相互のありがとうの繋がり「サンクスカード」

考勤基本の一つ「感謝の気持ちを表そう」の実践としてサンクスカードを行っています。業務内外での感謝の気持ちを名刺サイズ大のカードに記入し掲示板に掲示、記入されたカードは給料明細と一緒に受け取る方へ渡されます。2020年度は3,391枚でした。



特別有給休暇制度を設立しました

新型コロナウイルスの影響による小学校等の臨時休校を考慮し、服部グループでは保護者の休暇取得支援として、上限に数の定めのない特別有給休暇制度を創設しました。

2020年度の制度利用は、7名、計11.5日でした。

利用者の感想



昨年4月・5月で小学校の臨時休校に伴い特別有給休暇を取得させていただきました。妻と1日交代で休暇を取り、家で子供と過ごすことになりました。部門のメンバーや取引先の方、同じ現場に入る業者の方にも助けられながらなんとか2か月乗り切ることが出来ました。また、子供と過ごす時間も増え、とても有意義な時間になりました。ご協力くださった方々、本当にありがとうございました。

サッシ部 江田和則

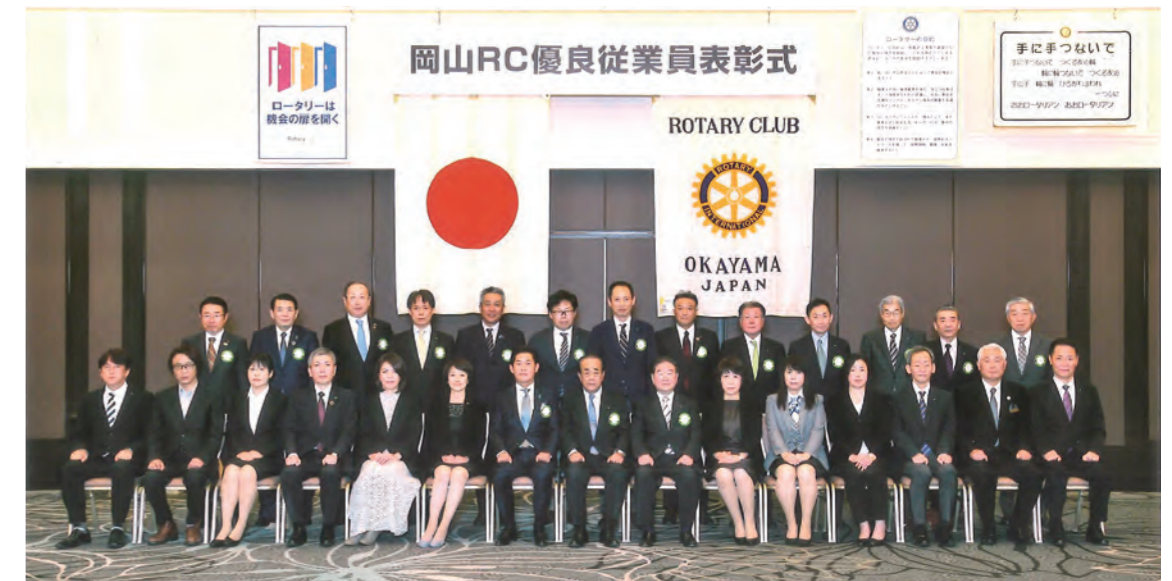


おかやま子育て応援宣言企業

岡山県が取り組んでいる「おかやま子育て応援宣言企業」になっています。これは働く人や地域における子育て応援を目的として企業・事業所の理解や協力を促す取り組みです。服部興業グループは仕事と育児が両立できる環境の整備として、テレワークの導入検討や新入学お祝いの会の実施、若者就労支援としてのインターンシップ開催を具体的な取り組みとしています。

岡山ロータリークラブ優良従業員表彰

岡山RCの会員企業103社の中から、当社1名を含む計14名が表彰を受けました。



岡山RC優良従業員表彰式 令和2年10月28日 於 ホテルグランヴィア岡山

受賞者の感想



今回の式典では受賞の栄えと同時に自分自身を見直す良いきっかけとなりました。本当にありがとうございました。

硝子部 難波信之

持続可能な環境への取り組み(環境)

旭川一斉清掃参加

9月27日、社員とその家族、計15名で旭川一斉清掃に参加し、後楽園外周のゴミ拾いを行いました。

ゴミ自体は多くありませんでしたが、川辺にはマイクロプラスチックの原因となっているビニールごみやタバコのフィルターが浮いているのが散見されました。

ゴミを拾う、そして大前提としてポイ捨てをしないことがSDGs「14.海の豊かさを守ろう」にもつながると改めて環境について考える機会にもなりました。

今後もこのような活動を通じて住み続けられる街づくり、快適な地域づくりに貢献していきます。



フードロス削減の取り組み

フードロス削減のため、この度セブン-イレブンで「エシカルプロジェクト」がスタートしました。

緑のエシカルプロジェクトシールが貼られた商品を電子マネーnanacoで購入すると、販売価格(税抜)に対して5%のポイントが付与されます。環境に配慮した選択を行いながら、お得にもなる取り組みです。

セブン-イレブン岡山古都宿店では、このエシカルプロジェクトや発注業務の精度向上で、2020年度にフードロス前年比24%削減しました。次年度も、発注管理、売り場づくり等を行い、課題解決に向け取り組んでいきます。



“出典:セブン-イレブンHPより”



CSR・SDGs勉強会

社外アドバイザーである、環境×スローライフ×CSR研究所 小桐登様にCSR・SDGsの勉強会を開催していただきました。

その中で日本はSDGsの認知率が49%と低い事(世界平均は74%)、ジェンダー平等や気候変動への対応が特に遅れていることなど話がありました。解決しなければならない課題がまだまだ多く、自分事として取り組む必要性を再確認しました。

エコキャップのリサイクルに取り組んでいます

ペットボトルキャップの回収も3年目となり、NPO法人エコキャップ推進協会への寄付を継続しています。

「ペットボトルはリサイクル」という行動がだんだんと根付いてきています。

年度別寄付数量

	2018年	2019年	2020年
個数	19,932	11,610	22,683
重量(kg)	46.35	27	52.75
CO ₂ 削減(kg)	146	85.05	166



SS照明LED化

ENEOS株式会社様の環境保全を推進する取り組みの1つとして、Dr.Driveセルフ花尻SSの照明のLED化を行いました。

LED照明は、一般照明と比べて長寿命・省電力の効果が期待できます。



環境学習指導員活動

山林部従業員が、「かんきょうひろば環境学習指導者制度」による環境学習指導者に登録され、小学生等を対象に出前講座に参加しました。真庭市で5回活動し、野鳥観察、昆虫採集、川の生き物探しをサポートしました。

今後も多くの活動に参加して、環境教育のスキルを磨き、子供たちに自分たちの住んでいる地域の良さ、山・川・海の素晴らしさを伝えていきます。



希少種の報告

社有林内で2種類の絶滅危惧種を確認し報告しました。タカチホヘビは岡山県レッドデータブックで絶滅危惧II類、カヤネズミは準絶滅危惧に指定されています。どちらも草刈り作業中の確認であったことから、今後は草地の希少種生息を考慮して、地際を刈らないことや群状刈りで生息地を残すことを心掛けます。山の便りは40回更新(前年比: +15回)し発信に努めました。



タカチホヘビ



カヤネズミ

法令を遵守した事業活動(公正な事業慣行)

合法木材の取り扱い

現在世界中で、環境意識の高まりから木の価値も向上し、それに伴って、伐採に関する法整備が進み、違法伐採に対してより厳しい目が向けられています。森の豊かさを守るためには、【育てて、伐って、使って、植える】というサイクルが必要不可欠で、携わる全ての人々が法令を遵守し、このサイクルを保たなければなりません。しかし、無秩序な違法伐採ではこのサイクルが崩れ、森林は失われていきます。森林の減少は、地球温暖化等の様々な環境問題を引き起こします。

合法木材を取り扱うことは、豊かな自然を次の世代に残すことに繋がります。岡山木材市場は合法木材の取り扱いを続け、環境保全の一端を担っていきます。



大成建設安全衛生環境協力会 会長表彰

大成建設株式会社様の安全衛生環境協力会会長表彰を受賞しました。これは、現場で安全衛生管理に寄与し、その功績が極めて優秀であると認められた団体が表彰されるものです。当社の三菱自動車工業水島工場の現場での安全への取り組みを高く評価していただきました。今後とも高い安全意識を持ち、現場管理を実施していきます。



消防法勉強会

10月にENEOS株式会社様のサポートを受け、石油部従業員8名を対象にSSに関連する法令についての勉強会を開催しました。SSでは消防法をはじめ、土壌汚染対策法、廃棄物処理法、品質確保法、屋外広告規制など多くの法令が業務と関連しています。勉強会で学んだ事で日々のSS施設の点検など自信を持って行うことが出来るようになりました。今後もこれらの法令を遵守しながら、危険物を取り扱う企業として適切な事業運営を実施していきます。

お客様の安心と満足のために(消費者課題)

コロナ禍での特市対応

岡山木材市場では、新型コロナウイルス感染防止のため、年4回行うセリ市「特市」の内、2020年度は1回を集客イベントの中止、残りは感染対策を徹底して開催しました。

6月11日の特市は、集客イベント・セリを行わず、ホームページに掲載した特価商品に、FAXやメール等で入札して頂く形で実施しました。普段あまり来られない方も入札やクイズに参加して下さいました。新しい様式での特市となりましたが、お客様に新鮮な気持ちでお楽しみ頂けたのではないかと思います。

他3回の特市は、お客様への受付での検温・消毒の協力をお願い、受付完了のお客様に検温済みシールを貼付けさせていただくなど感染対策を徹底しました。



簡易版で特市★売り切り商品ご入札のご案内

6月11日(木)に簡易版で特市を開催します。

この度は、コロナウイルス対策として集客イベントの開催を中止させて頂きましたので、通常通りの特市は行いません。

しかし、日頃のご愛顧に感謝し、できる限りの企画をご用意しております。簡易版ではありますが、是非ご参加くださいませようお願いたします。

※自主企画のみならず、提携の「売り切り商品コーナー」につきましては入札になります。ホームページに掲載した特価商品を購入し、その場で検閲ください。欲しい商品の数量を把握し、お電話で確認するチャンスから！? どうぞご参加くださいませようお願いたします。

また、ご入札されたお客様にはお礼状(キャンペーンポイント)を差し上げます。

★入札時間：6月11日(木) 11:00~14:00
ご入札につきましては、お入札後10日(水)にFAXで送付いたします。
FAX、メールでの送達、又は、ご来場での送付にて受付いたします。
また、お電話でのご入札も可能です。

★6月11日特市 入札対象商品
※写真の商品になります。

① 杉 特等芯材 3m×30×105 200丁入

SS、LINE会員サービスをスタート

当社サービスステーション4SSにて、LINE会員サービスを始めました。

会員限定のお得なクーポンを始め、燃料値上げの事前案内など様々な情報をご提供しています。

今後もより多くのお客様にご満足して頂けるよう様々な事にチャレンジしていきます。

地域の皆様とともに(コミュニティへの参画)

ファジアーノ岡山 スポンサー招待デー

2008年のJ2昇格当初から、オフィシャルスポンサーを務めています。2020年のスポンサー招待デーは11月5日VS.ジュビロ磐田。従業員とその家族60名が観戦しました。今後もファジアーノ岡山のJ1昇格を後押しするとともに、共に岡山を盛り上げる存在になるべく努力してまいります。



©FAGIANO OKAYAMA



孫娘が選手のお子さんと同級生で、その選手が出場した時には声は出せませんでしたが家族一同で盛り上がりました。天気も良く皆で楽しい時間を過ごすことが出来大変良かったです。新型コロナウイルスの影響で外出機会が減っている中、良いリフレッシュの機会となりました。

サッシ部 吉村直之

「おうちでファジフーズ」協力

ファジアーノ岡山が実施した『おうちでファジフーズ(デリバリー&ドライブスルー)』に協力しました。これは、リモートマッチ(無観客試合)やアウェイでの試合でも、ご家庭でファジフーズを楽しみながらテレビや動画配信サービスで観戦してもらおうという企画です。当社はドライブスルーの受取場所としてDr.Driveセルフ平野SSとセルフ古都宿SSのスペース提供協力を行いました。計5回、全1,000食をファジフーズを楽しみにしていた方々に提供することが出来ました。



2020.6.27

社用車にファジアーノ応援ステッカーが付きました

社用車後部にファジアーノステッカーを貼付しています。社内から、サポーターのお客様により身近に服部興業を感じてもらい、ともにファジアーノ岡山を応援したいという声が上がったことがきっかけです。サポーターの方がSNSで発信してくれるという嬉しい広がりもありました。



高校生向けの職場体験を実施しました

元請竹中工務店様の杜の街づくりプロジェクトと千日前再開発の現場にて、高校生の職場体験を実施しました。ガラスをサッシに固定するシーリングの施工体験の講師として服部興業硝子部と岡山ガラステクノのメンバーが講師として参加しました。



2020.12.7



“出典：両備ホールディングス株式会社 まちづくりカンパニー HPより”



高校生と接し、自分の息子を見る様な気持ちになりました。終了後に高校生がシーリング作業を楽しかったと答えてくれたことにほっとしました。

岡山ガラステクノ 大塚進吾

真庭市との協力で森づくり、ベンチ寄贈

慶應義塾『岡山落合の森』は当社が平成15年に寄付した2.5ヘクタールの山林です。一昨年度より活用が始まり、2020年度はバスが停められるように入口整備やヒノキ林間伐等を請け負いました。真庭市にも協力いただき、伐り出した間伐材丸太を製材・人工乾燥し、一部をベンチに加工して慶應義塾中等部様へ寄贈しました。大変気に入っていただき今後の励みになります。このような付加価値化をさらに検討していきます。



後楽館高等学校森づくり指導

真庭市蒜山の市有林「真庭・トンボの森」にて岡山市立岡山後楽館高等学校の生徒に、一般社団法人おかもやまエコサポーターズと共に講師を務めました。参加した13名の生徒を対象に木の伐倒とノコギリを使った玉切り指導を行いました。



2020.11.7

服部興業グループ2020CSRレポート
当レポートの感想をお聞かせください



代表挨拶

代表幹事 川元 盛樹

2020年度、服部興業グループCSRレポート(第3弾)の発行にあたり、第三者意見を担当する「CSR報告書を読む会」は、2011年より発足し、「組織の社会的責任についての調査・研究と勉強会の開催」をすることで、岡山県における優良企業を増やすことを目的に活動している団体です。

環境問題、労働問題、地域課題の解決など様々な分野で活動しているメンバーで構成されており、すべての組織に適用可能な社会的責任に関する国際規格ISO26000を参考のガイドラインとしています。

コロナウイルス感染拡大によって、環境問題への注目は一層高まっています。地球温暖化、相次ぐ自然災害、そして、これから起こるであろう新たなパンデミックを未然に防ぐためにもすべての人々が力を合わせて解決に向けて行動することが求められます。

また、新型コロナウイルス感染拡大は、日本だけでなく世界規模で社会の脆弱さと競争型経済の限界を明らかにしました。コロナ後の世界は持続可能な社会構築にむけて様々な取り組みがこれまで以上のスピードで進んでいくことが予想されます。

これから先、自分たちはどのような社会の中で生きていきたいのか、理想の社会を実現するためにはどうしたらいいのか、そのために企業としてできることは何かを考えながらビジネスモデルを構築していく視点。つまり、ソーシャル・コンセプトを明確にすることが絶対的に必要な時代に突入しました。

今回のCSRレポートでは、これからの経営方針の骨子となる報告がされています。服部興業の取り組みが社会的に広がり、岡山県全体の企業活動に寄与することを願っています。

代表幹事
川元 盛樹

岡山県労働組合会議



特筆すべき点

コロナ禍による一斉休校によって、子育て中の労働者は非常に困惑することになりました。貴社が特別有給休暇制度を確立され休暇取得を促されたことは高く評価できる点です。また、女性のズボン着用を実現されるなど、ジェンダー意識の変化が取り入れられている点に好感が持てます。残業時間削減を104%達成されているのはコロナ禍という状況を差し引いても注目すべき点です。

さらなる取り組みを期待する点

テレワーク、リモートワークの活用等で残業時間削減に尽力されたのだと思います。貴社では、対面との使い分けで生産性の向上につながると分析をされていることから、IT技術を活用することで今後も残業時間の削減を継続してください。

また、熱がある場合でも「無理して出社する」というのがこれまでは常識ようになっていましたが、コロナ禍後の社会では、「無理して出社しない」ことが新しい生活様式として定着することが予想されます。

男性の産休取得が法制化されるなど、働き方は大きく変化しています。今後の企業努力によって、介護・看護・子育てのための特別有給休暇制度を独自に創設されるなど、他社の先を行く取り組みを実践されることを期待します。

幹事
小桐 登

岡山県ボランティア・NPO活動支援センター
CSR担当



特筆すべき点

SDGsを経営に取り入れられて4年目を迎えます。第1回おかやまSDGsアワードにおいて表彰されたことは、真摯にSDGsを経営課題とリンクされ、本業として取り組んでこられたことにあると思います。

また、組織統治において、自社のみならず協力会社も対象とした安全教育は評価できます。BCPへの取り組みについても事業所ごとに災害別のハザードマップを作られたことは実践的です。避難訓練などを重ねられ、緊急事態に対応できる体質づくりを期待します。

さらなる取り組みを期待する点

危険が伴う事業を行われる中、労働災害の増加は、今後、重大事故につながる懸念があります。過去の事例や危険作業での情報共有により、同じ事故が発生しない仕組みづくりが必要と考えます。

また、有給休暇が所得しにくい点は、制度だけでなく、気兼ねなく取得できる職場づくりが必要と考えます。SDGsのジェンダー平等は現状では達成できない状況です。有給休暇取得はその解消策の一つとして考え、業務改善と併せて検討されることを期待します。

最後に、環境面においては、2030年CO₂削減46%削減(基準年2013年)目標が示されており、企業として劇的なCO₂削減に向けた取り組みが求められています。現状把握から始め実効性のある環境マネジメントシステムを実施されることを提案します。

幹事
築谷 淳志

公益財団法人
岡山県環境保全事業団



特筆すべき点

コロナ禍の影響で先行き不透明ななか、地域のインフラを提供される企業として、社会責任を果たし続けられていることに敬意を表します。BCP、健康経営など企業の生き残りに不可欠な活動の一方で、オリンピックやサックス活動など、非常に多くのボトムアップによる改善活動をされていることが、貴社の多様性を深めている土台になっているのでは、と推察いたします。

さらなる取り組みを期待する点

多種多様な取り組みと、貴社の理念との関連性について情報不足のため、活動のストーリー性、説得力を損なっていると感じます。例えば、理念実現のための重要課題を整理し、課題と関連付けた形でSDGs目標をまとめることで、貴社の活動の目的が明確になり、理解されやすくなります。ESG投資では、自社活動の社会インパクトを定量的に評価できる企業ほど、持続成長可能性の高い事が指摘されています。地域の社会インフラを担う企業だからこそ、環境分野最重要課題の一つである2050年温室効果ガスゼロに向けて、まず自社の排出量を定量的に把握・削減し、次に顧客や地域の改善に貢献する、というビジョンを立て、取り組まれることを期待いたします。

幹事
石原 達也

特定非営利活動法人
岡山NPOセンター
理事長



特筆すべき点

会社にとって一番大切な財産は人だと思っています。その意味で、社員さんの健康づくりに関する取り組みや男性の育休取得など、職員さんが持続的に働きやすい環境づくりはとても重要であり、コロナの状況にも対応してテレワークの導入もすすめるなど、臨機応変な対応は特筆すべきことです。基礎疾患の有無などもコロナの重症化につながるという指摘がある中、健康づくりは重要な項目の一つだと思っています。

さらなる取り組みを期待する点

地域への取り組みの中で森を活かした健康づくりをステークホルダーにさらに提供することやフードロスと困窮者支援をつなげた取り組みなど、複合的な取り組みを地域のステークホルダーと展開されていくことを期待します。